



未来に響く文化の鼓動

札幌文団協

札幌文化

団体協議会

ニュース

第71号

- 札幌文団協の目的
札幌における各文化団体の連絡協調をはかり、文化の発展をめざします
- 札幌市民憲章5章
世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう



▲「第44回文化交流パーティーさっぽろ」で演奏する(一財)縄文芸術文化財団の皆さん

文団協の“本拠地”と言える札幌市教育文化会館では現在、ホールを中心とする大規模改修工事が行われており、来年秋にはリフレッシュした姿を見せてくれます。

そこで、来年の札幌文団協フェスティバル舞台部門は、ぜひ改修なった教文ステージでと、10月12日、13日の日程を組んでいます。再開を祝う「こけら落とし」は教文主催の公演が舞台を飾りますが、札幌文団協フェスティバルも共催事業として「こけら落としシリーズ」に加えていただくこととなり、例年にも増して充実した舞台が期待されます。

さらに、夏の開催が続いていたフェスティバル展示部門も、来年は10月25日〜27日に設定。フェスティバルで彩られる札幌の秋が今から楽しみです。

☆

北海道と友好関係にある中国黒龍江省との芸術文化交流は37年に及びます。ここ数年はコロナ禍で対面による交流は停滞を余儀なくされていましたが、やっと再開の兆しが見えてきました。黒龍江省側の期待も大きく、様々なジャンルの交流が実現できそうです。札幌文団協としても、従前にも増して会員の皆さんが中心となる交流の復活に向けて準備を進めております。幅広い分野の会員によって構成される札幌文団協ならではの多彩なメニューによる交流が可能ことから、皆さんの発表の機会が国際交流の場にも再び広がることを期待しております。会員の皆さんの一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

第45回文化交流パーティーさっぽろ

日時／令和6年1月8日(成人の日)

正午開始

会場／京王プラザホテル札幌

展示部門

8月18日(金)～20日(日)
札幌文化芸術交流センター SCARTS
入場者数 2,650人

来場者を魅了してやみません

第52回 ぶんだんきょうフェスティバル

ぶんだんきょうフェスティバルは今年も札幌の夏を熱くしてくれました。前作を超える作品の数々を振り返ります。

次回、第53回SAPPORO
ぶんだんきょうフェスティバルは、

展示部門

◆展示・いけ花・お茶席／令和6年10月25日(金)～27日(日)、
札幌文化芸術交流センター SCARTS



芸術選賞 山田起雲
(西区文化団体協議会)



体験教室



舞台部門

(洋の部)7月2日(日)・(和の部)7月3日(月)
 カナモトホール(札幌市民ホール)
 入場者数 1,121人



芸術選賞【洋の部】 Fukuino



芸術選賞【和の部】
 西川華緒貴(手稲文化協会)



下記の日程および会場で開催いたします。

舞台部門

◆令和6年10月12日(土)・13日(日)、
 札幌市教育文化会館・大ホール



札幌文化団体協議会
 会長 下沢 敏也

北海道の涼しい夏が懐かしく想える今年の猛暑もようやく過ぎ去ったかと思えば、もうすっかり冬の寒さを感じさせる気配になって参りました。そして「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、時が過ぎて往く早さに翻弄されているようです。

昨今、世の中を垣間見ますと混沌とした世界情勢や多くの自然災害等目を覆いたくなるが多すぎ、半年前まで世界中がパンデミックの中で苦しんだことも過去のものになっているかのような錯覚を覚えています。

札幌文化団体協議会の長い歴史の中で今向き合い必要なことは、会員の方々の発表や活動する場を提供し、より活性化すること。その周知や普及活動、更に文化活動に対して支援を戴ける方々の輪を一層広げていくことです。札幌文協の事務局も多方面に目を向け、活動も年々幅を広げており、新たな会員の入会や当団体にご理解と支援を戴ける企業様も増加して来ています。

これからも会員の皆さんと共に「文化力」を高めて心豊かな街にしていくことが何より大切なことでしょう。

令和5年度

札幌文化団体協議会文化賞各賞決定

【文化賞】

こいずみ

小泉 のり子 (バレエ)

生年月日／昭和23年12月12日

主な業績／5歳からバレエの道に入り、昭和44年に小泉のり子バレエスタジオを設立。50年以上にわたって公演活動と人材育成に専念してきた。数多くの定期発表会に加え、数回に及ぶ全道バレエフェスティバルの振付など、今や北海道のバレエ界にとって無くてはならない推進力となっている。全国バレエ協会北海道支部副支部長の重責を担いながら、バレエ文化・芸術に一心に向き合っている。平成2年恵庭市民芸術文化奨励賞、平成16年と平成25年に札幌市民芸術祭奨励賞、平成26年札幌芸術賞、平成30年北海道文化団体協議会賞を受賞。



【文化賞】

まつやま

ぼくよう

松山 朴羊 (書)

生年月日／昭和24年4月10日

主な業績／北海道書道展理事、北海道書道連盟参与の要職に加え、北海道書人展招待作家、羊城グループ代表、羊心会主宰として北海道の書道界を牽引している。加えて札幌市民芸術祭市民美術・書道展部会に12年間参画し、現在は部会長。MOA美術館札幌児童作品展審査員、札幌席書大会審査員、北海道学生書道展審査員として、後輩書家への影響と指導に心を尽くしている。さらに平成26年に設立された豊平区文化団体協議会の事務局長として、書道界にとどまらず幅広い分野で活動し、札幌市の文化芸術の発展に貢献している。3度の日展入選をはじめ、北海道書



道展準大賞、毎日展毎日賞など入賞多数。平成23年には北海道書道展30年表彰を受賞。

【文化功労賞】
まえだ

けいげつ

前田 桂月 (茶道)

生年月日／昭和9年4月27日

主な業績／昭和25年、三笠市において大和遠州流茶道澤村静芳庵師入門、昭和46年に手稲に大和遠州流茶道前田社中を創設した。昭和53年に手稲文化協会に入会し、茶道部門の要として45年間にわたり活躍。副会長、会計監査を歴任し、手稲文化協会の発展に大きく寄与した。昭和59年に静月会札幌支部に移籍後は、支部の記念行事やライラックまつり協賛茶会、中島公園日本庭園野点茶会、札幌文団協フェスティバル茶会などに参加し、積極的に後進の育成、茶道の普及発展に努めている。平成11年に手稲区長表彰(永年功労団体表彰)



【文化奨励賞】
わかやぎ

きよくゆう

若柳 旭優 (邦舞)

生年月日／昭和57年4月9日

主な業績／3歳から帯広市で邦舞を始め、6歳で旭甫会に入会。以来35年間にわたり若手舞踊家として自己の研鑽に加え、子供や新入会員への指導に力を尽くしている。さらに自身の出演舞台においても、裏方の衣装着付、髪結いなど舞台づくりの全てにおいて若手育成の手本として精進を重ねている。また、地域の子育成のために地元祭りの祭りにも携わり、日本文化としての邦舞の普及、伝承に積極的に取り組んでいる。札幌文団協フェスティバルにも数多く出演し、若手有望株として期待されている。



令和6年度 各区文団協の主な活動予定

※日程は変更になる場合があります。

[東 区] 東区民センター

7月7日 第37回東区文団協邦舞まつり

10月3日～6日

第47回オータムフェスティバル

[西 区] ことにパトス

9月 西区文化フェスタ2024

[厚別区] 厚別区民センター

11月 第31回厚別ふれあいフェスティバル

～舞台部門と展示部門の集い

[清田区] 清田区民センター

7月 第22回芸能発表会

[中央区] かでる2・7

5月25日～26日

第21回札幌市中央区

文化団体協議会芸術祭

[南 区] 南区民センター

9月又は10月頃

第8回FESTIVAL

[豊平区] 豊平区民センター

時期未定 第8回芸術祭フェスティバル

[白石区] 白石区民センター

時期未定 第7回白石区文団協芸術祭フェ

スティバル

[手稲文化協会] 手稲区民センター

7月 チャリティ舞踊の集い

10月 手稲文化祭



札幌文団協
会員イベント情報
Event information archive

当会ホームページで、会員皆様の活動状況をお知らせしています。上記のバナーを目印にぜひご覧ください。また、公式SNSも含め掲載依頼も随時受付しています。ご希望の方は事務局まで情報をお寄せください。

各賞を受賞された方々

○文化庁地域文化功労者表彰

佐藤 武（絵画）

○北海道文化奨励賞

茂呂 剛伸（音楽）

○北海道文化奨励賞

山田 起雲（書）

○札幌芸術賞

下沢 敏也（陶芸）

○札幌市社会教育功労者表彰

鈴木 富美子（詩吟・東区）

○札幌市社会教育功労者表彰

竹内 佐登和（箏曲・西区）

○北海道文化団体協議会芸術賞

田湯 岬（俳句）



▲恵庭市で開催した北海道文化集會の席上、
下沢会長から表彰される田湯岬さん

令和6年度 札幌文団協の事業予定

- 4月11日 常任理事会(キタラ・大会議室)
- 4月25日 役員会(札幌市資料館)
- 5月 9日 総会(札幌市資料館)
- 5月30日 札幌文団協フェスティバル実行委員会(札幌市資料館)
- 5月15日～26日 2024さっぽろライラックまつり
(大通公園ほか)
- 8月15日～17日 こどもアール・ブリュット
北海道みらい作品展
- 10月12日～13日 第53回札幌文団協フェスティバル
舞台部門(札幌市教育文化会館・大ホール)
- 10月25日～27日 第53回札幌文団協フェスティバル
展示／いけ花／お茶席部門
(札幌文化芸術交流センター SCARTS 1階・2階)
- 11月 2024さっぽろ菊まつり(チカホ)
- 11月 区文団協会長・事務局長会議
- 1月13日 第46回文化交流パーティーさっぽろ

新役員ご紹介

今年度の総会で承認された新役員は
下記の方々です。

- 副会長・常任理事 菊池 誓子 (厚別区・剣詩舞)
 - 副会長 西川 華緒貴 (手稲区・邦舞)
 - 理事 中川 紀代子 (茶道)
- (令和5年5月11日付け)

新会員ご紹介

- 書道あさの葉会 (代表) 菅原 京子
- 臨床美術「ほっかいどう」 (代表) 土門 環



あ と が き

10月から新メンバーのひとりとして文団協に加わりました。

事業の運営、経理や本誌の編集等と様々な業務に緊張とともに奔走しています。

さて、事務局の仮住まいのキタラのそばに鴨々川が流れ、そのせせらぎは耳に心地よく響きます。

11月の今、鮮やかに色づいた街路樹の銀杏はその葉を歩道まで広げ、さながら黄色の絨毯を歩いているようです。

日々感じる四季の変化や美しさを胸に、皆さまと明るい文化芸術活動を共にしていけます事を願っております。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。(S.K.)

第65回

さっぽろライラックまつりに参加

青天のなか、ライラックの香に包まれた大通公園で、ライラックまつりが5月17日に12日間の幕を明けました。オープニングセレモニーでは実行委員長として下沢敏也札幌文化団体協議会会長が開会を宣言。引き続き3年ぶりに再開されたライラックの苗木プレゼントでは、秋元札幌市長とともに来場した多くの市民に苗木を贈呈しました。

イベントの様子は、2023さっぽろライラックまつりホームページをご覧ください。

来年の第66回の会期は5月15日～26日です。

